

宮崎労働局長による「働き方改革」企業トップへの働きかけ

－国立大学法人宮崎大学－

平成 28 年 6 月 28 日、元木宮崎労働局長が、国立大学法人宮崎大学の学長である池ノ上克氏を訪問、「働き方改革」への取組状況をお聴きし、更なる取組への推進をお願いいたしました。

訪問企業名	国立大学法人宮崎大学
所在地	宮崎市
従業員数	3, 193人
事業内容	教育研究・学習支援・診療事業

1 平成 28 年 3 月 2 日イクボス宣言を実施

本学役員及び管理的立場にある教職員約 100 人がイクボス宣言式に出席し、各人がイクボス宣言文に署名をし、公表した。

本学 HP にイクボス宣言文を公表しているので是非ご覧いただきたい。イクボス宣言によって、役員や管理的立場にある教職員などボス管理職のワーク・ライフ・マネジメントの実現を目指し、そのあり方について宣言したものである。

(Web サイト：<http://www.miyazaki-u.ac.jp/topics/20160302-2>)

本学は平成 25 年 10 月に「くるみん認定」を受けているが、従前から、希望する教職員が「育児中のママ用」「育児中のパパ用」「育児・介護応援団用」「介護中の教職員用」とそれぞれ該当する色のバッジやシールを名札などに貼付することで、大学全体で子育て・介護と仕事との両立がしやすい環境を醸成している。

引き続き、仕事と家庭が両立しやすいよう幹部が職場環境に配慮していく。

2 女性の活躍推進継続中！

平成 20 年に女性研究者支援の拠点を設けたのを始め、男女共同参画シンポジウムの開催などに取り組み、男女が活躍できる職場環境づくりに取り組み、女性管理職が増加した結果、平成 27 年 10 月に均等・両立推進企業表彰「均等推進企業部門」宮崎労働局長優良賞を受賞した。

平成 27 年度には、女性活躍・人財育成担当理事を設け、学生や教職員を含む本学機能の全域にわたり女性の活躍が一層推進するよう取り組んでいる。また、学内のシンポジウムを地域に開放するなどして、女性の活躍が地域活性化にもつながるよう、発信源となり取り組んでいる。

3 働き方改革推進中！

学内での研究や附属病院での医療業務など、休みが取りづらい職場環境ではあるが、8月にお盆をはさんで一斉休業を設けるなど工夫することによって、メリハリのある働き方を実現することが、よりよい人材の創出になると考えている。



左：池ノ上克・宮崎大学長、右：元木賀子・宮崎労働局長